

平成27年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月9日  
上場取引所 東

上場会社名 旭化学工業株式会社  
コード番号 7928 URL <http://www.asahikagakukogyo.co.jp>  
代表者 (役職名) 取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長  
定時株主総会開催予定日 平成27年11月26日  
有価証券報告書提出予定日 平成27年11月27日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 杉浦 武  
(氏名) 奥村 哲男  
配当支払開始予定日

TEL 0566-92-4181  
平成27年11月27日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年8月期の連結業績(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期	7,640	12.2	△84	—	△16	—	△63	—
26年8月期	6,812	△0.8	2	△98.6	40	△78.5	△739	—

(注) 包括利益 27年8月期 493百万円 (—%) 26年8月期 △681百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
27年8月期	△17.39	—	△1.3	△0.3	△1.1
26年8月期	△202.76	—	△14.7	0.7	0.0

(参考) 持分法投資損益 27年8月期 ー百万円 26年8月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年8月期	6,357	5,157	81.1	1,413.36
26年8月期	5,838	4,686	80.3	1,284.19

(参考) 自己資本 27年8月期 5,157百万円 26年8月期 4,686百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
27年8月期	44	△218	△23	1,037
26年8月期	310	△300	△26	1,063

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
26年8月期	—	3.00	—	3.00	6.00	21	—	0.4
27年8月期	—	3.00	—	3.00	6.00	21	—	0.4
28年8月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00	—	—	—

3. 平成28年8月期の連結業績予想(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,600	△5.6	0	—	50	—	35	—	9.59
通期	7,200	△5.8	10	—	80	—	50	—	13.70

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年8月期	3,896,000 株	26年8月期	3,896,000 株
② 期末自己株式数	27年8月期	247,017 株	26年8月期	246,987 株
③ 期中平均株式数	27年8月期	3,648,995 株	26年8月期	3,649,013 株

(参考)個別業績の概要

1. 平成27年8月期の個別業績(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期	2,928	△6.7	△67	—	253	180.3	250	—
26年8月期	3,137	△3.5	△20	—	90	△65.8	△878	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期	68.67	—
26年8月期	△240.72	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
27年8月期	3,545		3,171		89.4	869.02		
26年8月期	3,321		2,937		88.4	804.93		

(参考) 自己資本 27年8月期 3,171百万円 26年8月期 2,937百万円

2. 平成28年 8月期の個別業績予想(平成27年 9月 1日～平成28年 8月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	1,500	△2.2	22	△48.8	30	△6.3	8.22
通期	3,000	2.5	40	△84.2	45	△82.0	12.33

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
(4) 事業等のリスク .....	4
2. 企業集団の状況 .....	5
3. 経営方針 .....	6
(1) 会社の経営の基本方針 .....	6
(2) 目標とする経営指標 .....	6
(3) 中長期的な会社の経営戦略 .....	6
(4) 会社の対処すべき課題 .....	6
(5) その他、会社の経営上重要な事項 .....	6
4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
5. 連結財務諸表 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16
6. その他 .....	17
(1) 代表取締役の異動 .....	17
(2) その他の役員の異動 .....	17
(3) その他 .....	17

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

### (1) 経営成績に関する分析

#### ①当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、中国をはじめとした海外経済の減速や、天候不順等の影響により輸出や個人消費に一部弱さが見られましたが、原油価格の下落や円安が継続することで企業業績は堅調に推移し、穏やかな回復基調が続きました。

当社グループを取り巻く環境は、電動工具業界におきましては、欧米諸国の堅調な経済に支えられ販売が順調に推移しました。一方、自動車業界におきましても、北米を中心とした堅調な経済に支えられ、また為替の継続的な円安の影響により販売が順調に推移しました。

この結果、当連結会計年度の売上高は76億40百万円（前期比12.2%増）となりました。一方、経常損失は16百万円（前期は経常利益40百万円）、当期純損失は63百万円（前期は当期純損失7億39百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (イ) 日本

国内は、電動工具向け製品及び自動車向け製品の受注が減少し、売上高は29億28百万円（前期比6.7%減）、営業損失は67百万円（前期は営業損失20百万円）となりました。

#### (ロ) 中国

中国は、円安による為替換算の影響により、売上高は46億44百万円（同24.5%増）となりましたが、材料費や人件費の増加により、営業利益は12百万円（同80.3%減）となりました。

#### (ハ) タイ

タイは、受注が増加し売上高は1億58百万円（同96.0%増）となりましたが、人件費や修繕費の増加により、営業損失は1億15百万円（前期は営業損失1億22百万円）となりました。

#### ②今後の見通し

今後の見通しにつきましては、日本国内、海外共に価格競争が引き続き厳しくなり、得意先の海外生産比率は増加すると思われれます。その中で当社グループは品質改善による顧客満足の向上、生産性向上、また新製品の自社開発を継続し営業活動を通じて収益力の強化に努めてまいります。

この結果、次期の売上高は72億円（前期比5.8%減）、営業利益は10百万円（前期は営業損失84百万円）、経常利益は80百万円（前期は経常損失16百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は50百万円（前期は当期純損失63百万円）を予想しております。

### (2) 財政状態に関する分析

#### ①資産、負債及び純資産の状況

資産合計は前期比5億18百万円増の63億57百万円となりました。これは主に、たな卸資産が50百万円、その他流動資産が95百万円、有形固定資産が94百万円及び投資その他の資産が3億14百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債合計は前期比47百万円増の11億99百万円となりました。これは主に、その他流動負債が27百万円及び長期繰延税金負債が25百万円それぞれ増加したことによるものです。

純資産の合計は前期比4億71百万円増加し51億57百万円となりました。これは主に利益剰余金が85百万円減少したこと及び為替換算調整勘定が5億51百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末比26百万円減の10億37百万円となりました。また、当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は44百万円となりました。これは主に減価償却費が2億7百万円計上されましたが、仕入債務が1億32百万円減少し、法人税等の支払が31百万円あったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、2億18百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が1億49百万円及び投資有価証券の取得による支出が54百万円あったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は23百万円となりました。これは主に配当金を22百万円支払ったことによるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成23年8月期	平成24年8月期	平成25年8月期	平成26年8月期	平成27年8月期
自己資本比率（％）	83.1	83.5	84.6	80.3	81.1
時価ベースの自己資本比率（％）	37.5	30.5	24.4	27.8	24.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	—	—	0.0	0.0	0.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	—	—	2,237	1,468	241

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- （注） 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。  
 2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。  
 3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への長期にわたる安定的な利益還元、及び企業体質の強化と事業基盤の拡充に必要な内部留保の充実や今後の事業展開などを勘案して、株主の皆様への積極的な利益還元をはかることを基本方針とし、毎期連結当期純利益の20%の配当を行う旨目標を掲げております。

当期の配当につきましては当期純損失を計上しましたが、安定した配当を実施するため1株当たり年間6円（中間3円、期末3円）の普通配当を予定しております。

また、次期の配当につきましては、厳しい業績予想のもと、1株当たり、年間6円（中間3円、期末3円）の普通配当を予想しております。

#### (4) 事業等のリスク

当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性のあるリスクには以下のようなものがあります。なお、文中における将来に関する事項については、当連結会計年度末現在において判断したものであります。

##### ①特定の顧客への依存

当社グループは、プラスチック製品の成形及び加工を行っておりますが、その販売は特定の顧客に依存しております。この特定の顧客とは、継続的かつ安定した取引関係にありますが、その顧客の生産及び販売の状況によっては、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

##### ②海外市場での活動

当社グループは、中華人民共和国及びタイ王国に投資活動を行っておりますが、海外では為替リスクに加え、政情不安、経済動向の不確実性、文化の相違、さらには海外送金及び輸出入などの規制変更や税制変更等様々な障害を伴う可能性があり、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

##### ③為替変動

為替変動は、当社グループの外貨建取引から発生する資産及び負債の日本円換算額に影響を与える可能性があります。また、外貨建で取引されている製品の価格に影響を与える可能性があります。これらは、当社グループの業績及び財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

##### ④人材の雇用及び育成

当社グループは人材は重要な財産と捉えております。規模拡大及び存続のため優秀な人材を採用し経営理念に共感する人材育成に注力しています。従って優秀な人材を確保できない場合は、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

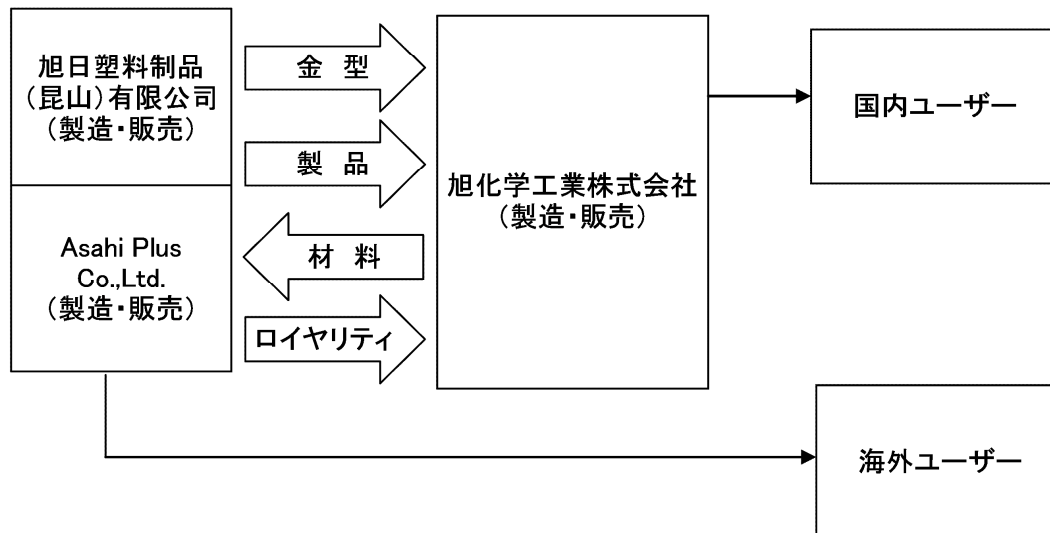
##### ⑤自然災害等

近年、地震、台風をはじめとする自然災害が各地で多発しております。地震等による自然災害や火災などの事故で壊滅的な被害を受け、操業に重大な影響が発生した場合には、原材料の確保、生産、製品供給等に支障をきたし、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

## 2. 企業集団の状況

当社グループ（当社及び当社の関連会社）は、当社（旭化学工業株式会社）及び子会社2社（旭日塑料制品（昆山）有限公司及びAsahi Plus Co.,Ltd.）により構成されており、事業として電動工具及び自動車部品等の樹脂成形、電動工具の組付、樹脂金型の設計製作、並びに自社製品である建築資材の製造販売を事業としております。

事業系統図は次のとおりであります。



### 3. 経営方針

#### (1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、「愛されるプラスチックメーカー」を目指して、良い考え [合理化の追求] ・良い商品 [信頼性の重視] ・良い職場 [人間性の尊重] を社是として掲げ、「人・物・金は企業にとって限度がある。限度あるものを最高に活かすのが事業である。」との基本理念をもとに、創業以来、企業活動を行っております。

その基本理念のもと、社会のニーズに合った製品を造り出すための研究活動に注力し、技術力を高め、効率のよい生産システムを確立し、お客様及び市場からの評価を高め、収益力の向上と経営基盤の強化を図ってまいります。

#### (2) 目標とする経営指標

当社は、当社グループの売上目標を100億円に設定し、毎年10%以上の増収を目指して事業活動を行っておりますが、当期は、前期比12.2%増の76億40百万円の売上となりました。

また、具体的な数値目標としましては、売上高総利益率20%を安定的に維持することを掲げておりますが、当期は、タイ子会社の稼働率が上がらなかったこと等により、売上高総利益率は6.6%まで低下しました。当面の目標といたしましては、これを10%に引き上げることであります。

#### (3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、その販売を特定の得意先の特定の業種（電動工具業界及び自動車業界）に依存しております。平成27年8月期におきましては、その特定の得意先の売上高の総売上高に占める割合は、90.9%となります。また、電動工具部品及び自動車部品の売上高の総売上高に占める割合は、96.7%となります。この特定の得意先の動向が当社グループの業績に大きく影響を及ぼします。そのため、自社ブランドのアンカープラグの製品改良や新製品の研究開発に力を注ぎ、その特定の得意先以外への販売の増加を図ってまいります。

#### (4) 会社の対処すべき課題

当社グループは、日本、中国及びタイと三国に生産拠点を有しています。中国及びタイへは日本から社員を若干名派遣しており、今後も派遣を続ける予定であります。現在のところ人材が不足しております。管理者としての能力を有し、経営全般の知識がある社員の育成が急務であります。生産の海外比重が今後ますます拡大することが予想されます。

中間管理者の育成、人材の確保に努め、価格及び品質において競合他社に負けない体制作りを図ってまいります。

#### (5) その他、会社の経営上重要な事項

該当事項はありません。

### 4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。



## 5. 連結財務諸表

### (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当連結会計年度 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,080,755	2,020,540
受取手形及び売掛金	822,662	847,737
商品及び製品	203,283	221,351
仕掛品	99,505	134,453
原材料及び貯蔵品	141,391	138,690
繰延税金資産	8,500	8,465
その他	136,886	232,640
貸倒引当金	△1,660	△1,530
流動資産合計	3,491,325	3,602,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	700,714	700,612
機械装置及び運搬具（純額）	488,874	554,776
土地	949,026	975,430
その他（純額）	25,457	27,893
有形固定資産合計	2,164,072	2,258,712
無形固定資産	10,931	9,673
投資その他の資産		
投資有価証券	143,240	188,737
その他	37,752	300,784
貸倒引当金	△8,630	△3,059
投資その他の資産合計	172,363	486,463
固定資産合計	2,347,368	2,754,848
資産合計	5,838,693	6,357,198
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	743,996	723,240
未払法人税等	7,246	8,646
賞与引当金	12,524	23,680
役員賞与引当金	5,698	5,686
その他	178,195	205,673
流動負債合計	947,662	966,926
固定負債		
繰延税金負債	160,825	185,929
役員退職慰労引当金	42,256	45,278
その他	1,922	1,755
固定負債合計	205,004	232,963
負債合計	1,152,666	1,199,889

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当連結会計年度 (平成27年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	671,787	671,787
資本剰余金	729,938	729,938
利益剰余金	2,927,048	2,841,692
自己株式	△132,927	△132,940
株主資本合計	4,195,847	4,110,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,243	64,378
為替換算調整勘定	430,936	982,451
その他の包括利益累計額合計	490,180	1,046,830
純資産合計	4,686,027	5,157,308
負債純資産合計	5,838,693	6,357,198

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成25年9月1日 至 平成26年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成26年9月1日 至 平成27年8月31日)
売上高	6,812,643	7,640,819
売上原価	6,276,599	7,132,982
売上総利益	536,044	507,837
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	102,548	114,929
役員報酬	59,735	60,879
給与・賞与	137,806	154,642
賞与引当金繰入額	3,180	5,459
役員賞与引当金繰入額	5,698	5,686
役員退職慰労引当金繰入額	3,490	3,022
退職給付費用	2,474	2,318
厚生費	70,150	83,378
貸倒引当金繰入額	1,170	△130
その他	147,526	162,095
販売費及び一般管理費合計	533,779	592,282
営業利益又は営業損失(△)	2,264	△84,445
営業外収益		
受取利息	30,263	40,842
受取配当金	2,429	2,582
為替差益	—	16,489
その他	6,623	8,607
営業外収益合計	39,317	68,521
営業外費用		
支払利息	211	183
為替差損	738	—
営業外費用合計	950	183
経常利益又は経常損失(△)	40,631	△16,107
特別利益		
固定資産売却益	614	161
投資有価証券売却益	14,151	15,940
特別利益合計	14,766	16,101
特別損失		
固定資産売却損	1,614	2,704
固定資産除却損	158	1,907
減損損失	618,708	—
特別損失合計	620,480	4,611
税金等調整前当期純損失(△)	△565,083	△4,617
法人税、住民税及び事業税	46,572	32,161
法人税等調整額	128,213	26,682
法人税等合計	174,786	58,844
少数株主損益調整前当期純損失(△)	△739,869	△63,461
当期純損失(△)	△739,869	△63,461

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成25年9月1日 至 平成26年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成26年9月1日 至 平成27年8月31日)
少数株主損益調整前当期純損失 (△)	△739,869	△63,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,070	5,135
為替換算調整勘定	57,233	551,515
その他の包括利益合計	58,304	556,650
包括利益	△681,565	493,188
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△681,565	493,188
少数株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 平成25年9月1日 至 平成26年8月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	671,787	729,938	3,692,461	△132,927	4,961,259
当期変動額					
剰余金の配当			△14,596		△14,596
剰余金の配当（中間配当額）			△10,947		△10,947
当期純損失（△）			△739,869		△739,869
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	△765,412	－	△765,412
当期末残高	671,787	729,938	2,927,048	△132,927	4,195,847

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	58,172	373,703	431,876	5,393,135
当期変動額				
剰余金の配当				△14,596
剰余金の配当（中間配当額）				△10,947
当期純損失（△）				△739,869
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,070	57,233	58,304	58,304
当期変動額合計	1,070	57,233	58,304	△707,108
当期末残高	59,243	430,936	490,180	4,686,027

当連結会計年度（自 平成26年9月1日 至 平成27年8月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	671,787	729,938	2,927,048	△132,927	4,195,847
当期変動額					
剰余金の配当			△10,947		△10,947
剰余金の配当（中間配当額）			△10,946		△10,946
当期純損失（△）			△63,461		△63,461
自己株式の取得				△12	△12
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	△85,355	△12	△85,368
当期末残高	671,787	729,938	2,841,692	△132,940	4,110,478

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	59,243	430,936	490,180	4,686,027
当期変動額				
剰余金の配当				△10,947
剰余金の配当（中間配当額）				△10,946
当期純損失（△）				△63,461
自己株式の取得				△12
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	5,135	551,515	556,650	556,650
当期変動額合計	5,135	551,515	556,650	471,281
当期末残高	64,378	982,451	1,046,830	5,157,308

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成25年9月1日 至 平成26年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成26年9月1日 至 平成27年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失 (△)	△565,083	△4,617
減価償却費	250,299	207,595
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,716	8,849
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△12
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,490	3,022
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,170	△5,700
受取利息及び受取配当金	△32,693	△43,424
支払利息	211	183
為替差損益 (△は益)	△4,107	△3,782
投資有価証券売却損益 (△は益)	△14,151	△15,940
有形固定資産売却損益 (△は益)	999	2,542
有形固定資産除却損	158	1,907
減損損失	618,708	—
売上債権の増減額 (△は増加)	140,462	91,786
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△58,888	17,057
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△18,682	△78,703
仕入債務の増減額 (△は減少)	23,783	△132,116
未払費用の増減額 (△は減少)	4,608	△10,019
未払消費税等の増減額 (△は減少)	16,527	△3,207
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△867	△7,625
その他	16	△3,847
小計	360,246	23,948
利息及び配当金の受取額	23,896	51,726
利息の支払額	△211	△183
法人税等の支払額	△73,487	△31,258
営業活動によるキャッシュ・フロー	310,443	44,233
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△445,464	△546,477
定期預金の払戻による収入	305,159	519,646
有形固定資産の取得による支出	△172,315	△149,032
有形固定資産の売却による収入	1,936	2,668
無形固定資産の取得による支出	△1,411	△3,223
投資有価証券の取得による支出	△6,497	△54,635
投資有価証券の売却による収入	22,211	24,626
投資有価証券の払戻による収入	—	4,008
その他投資等の取得による支出	△3,634	△15,168
その他	—	△750
投資活動によるキャッシュ・フロー	△300,016	△218,338
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△12
配当金の支払額	△25,724	△22,102
その他	△834	△1,229
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,558	△23,344
現金及び現金同等物に係る換算差額	24,513	171,096
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,382	△26,353
現金及び現金同等物の期首残高	1,055,545	1,063,928
現金及び現金同等物の期末残高	1,063,928	1,037,575

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、プラスチック製品の成形加工事業の単一事業であり、国内においては当社が、海外においては中国を旭日塑料制品(昆山)有限公司が、タイをAsahi Plus Co., Ltd. がそれぞれ担当しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」及び「タイ」の3つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、電動工具部品、自動車部品及びその他のプラスチック製品を生産・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自平成25年9月1日 至平成26年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表計 上額(注2)
	日本	中国	タイ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,137,701	3,598,144	76,797	6,812,643	—	6,812,643
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	130,969	4,162	135,131	△135,131	—
計	3,137,701	3,729,114	80,959	6,947,775	△135,131	6,812,643
セグメント利益又は損失 (△)	△20,676	64,259	△122,090	△78,507	80,771	2,264
セグメント資産	3,321,237	3,002,474	902,076	7,225,788	△1,387,094	5,838,693
その他の項目						
減価償却費	113,504	90,041	46,753	250,299	—	250,299
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	28,377	62,752	82,597	173,727	—	173,727

(注) 1. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



当連結会計年度（自平成26年9月1日 至平成27年8月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表計 上額(注2)
	日本	中国	タイ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,928,319	4,557,637	154,862	7,640,819	—	7,640,819
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	86,787	3,850	90,637	△90,637	—
計	2,928,319	4,644,424	158,712	7,731,456	△90,637	7,640,819
セグメント利益又は損失 (△)	△67,003	12,691	△115,837	△170,148	85,703	△84,445
セグメント資産	3,545,788	3,363,857	380,028	7,289,674	△932,476	6,357,198
その他の項目						
減価償却費	87,672	109,909	10,013	207,595	—	207,595
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	16,962	65,634	70,568	153,165	—	153,165

(注) 1. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自平成25年9月1日 至平成26年8月31日）

（単位：千円）

	日本	中国	タイ	合計
減損損失	—	—	618,708	618,708

当連結会計年度（自平成26年9月1日 至平成27年8月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成25年9月1日 至 平成26年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成26年9月1日 至 平成27年8月31日)
1株当たり純資産額	1,284円19銭	1,413円36銭
1株当たり当期純損失金額	202円76銭	17円39銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成25年9月1日 至 平成26年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成26年9月1日 至 平成27年8月31日)
当期純損失金額 (千円)	739,869	63,461
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失金額 (千円)	739,869	63,461
期中平均株式数 (千株)	3,649	3,648

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 6. その他

### (1) 代表取締役の異動

該当事項はありません。

### (2) その他の役員の異動

役員の異動につきましては、本日公表の「監査等委員会設置会社移行後の新体制に関するお知らせ」をご覧ください。

### (3) その他

該当事項はありません。